

昭和 35 年

国勢調査報告

第 1 卷

人口総数

1960 POPULATION CENSUS OF JAPAN

VOLUME I

TOTAL POPULATION

総理府統計局

Bureau of Statistics

Office of the Prime Minister

S334.61
S615 (60)K1
1

ま え が き

昭和35年10月1日を期して行なわれた昭和35年国勢調査は、国民各位の多大のご協力をえて無事終了したが、その最初の結果報告書として、ここに昭和35年国勢調査報告第1巻を刊行する運びとなった。

わが国の国勢調査は、大正9年に第1回国勢調査が行なわれて以来、10年目ごとに大規模な調査が、また中間の5年目には簡易な方法による調査が、ほぼ定期的にくりかえし実施されており、昭和35年国勢調査は第9回目の国勢調査にあたるが、とくに今回の国勢調査は、統計法第4条の改正条項による最初の10年ごとの大規模国勢調査であった。したがって、その調査の事項も、氏名、世帯主との続柄、男女の別、出生の年月日、配偶の関係および国籍など、従来の国勢調査でもほぼ毎回調査されてきた、いわゆる人口の基本的属性にかんするもののほか、人口移動、教育、婦人の出産力、経済活動などにかんする諸事項、ならびに世帯および住宅にかんする事項など多方面にわたっており、その規模は昭和25年国勢調査とならんで、わが国国勢調査史上、もっとも大きなものであった。また、今回の国勢調査は、国際連合の提唱する「1960年世界人口センサス計画」の一環として、各国と歩調を合わせ行なわれたもので、国際的にも重要な意義をもつものであった。

この報告書は、昭和35年国勢調査の結果のうち、全国、都道府県および市区町村の人口にかんする統計表を集録したものである。人口の各調査事項別結果は、1%抽出集計、全数集計および10%抽出集計の方法により現在集計が進行中であって、集計完了の分から、この報告書にひきつづき巻をおって刊行される予定である。

なお、この報告書には、上記の人口総数のほかに、全国、都道府県および市区町村の面積をも掲載したが、これは、もっぱら建設省国土地理院の好意によるものである。

ここにこの報告書を刊行するにあたり、今回の国勢調査の企画・実施の段階から結果の編成にいたるまでの間、一方ならぬ協力をいただいた数知れぬ関係者各位に、心からの感謝の意を表わしたいとおもう。

昭和36年11月

総理府統計局長 小田原登志郎